



平成26年5月15日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成26年3月期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成26年3月期(平成25年4月1日~平成26年3月31日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算:個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、6兆1,670億円、前年から8.3%の減少。
- 解約失効高は、3兆9,207億円、前年から3.1%の減少。
- 保有契約高は、59兆5,068億円、前年度末から0.5%の増加。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、2兆857億円、前年から13.8%の減少。
 うち保険料等収入は、1兆6,097億円、前年から17.1%の減少。
- 経常利益は、1,862億円、前年から22.8%の増加。
- 当期純利益は、789億円、前年から23.9%の増加。

株主還元

- 1株当たり年間配当金は、前回発表予想の22.5円から2.5円増配し、25円を予定しています。
- 自己株式の取得を100億円を上限に実施いたします。

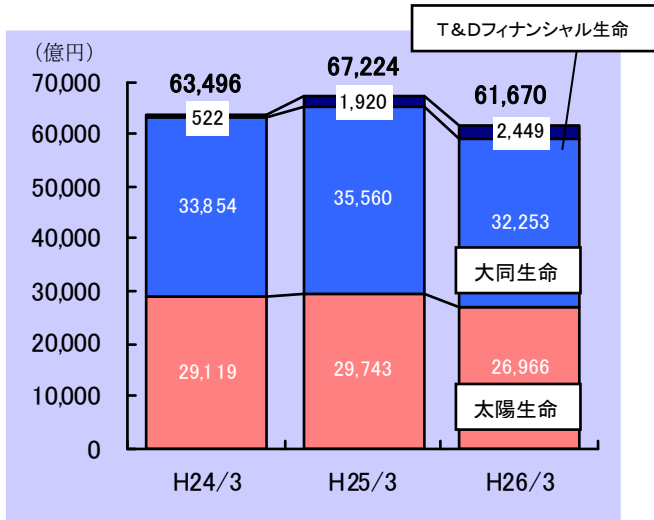
以上

【お問合せ先】

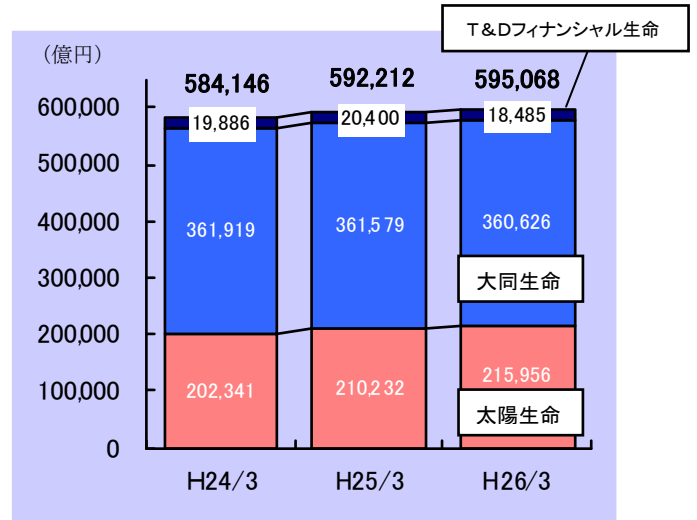
株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

〔契約業績（個人保険・個人年金保険）〕

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約高	61,670	5,554 減 (8.3%減)	26,966	2,776 減 (9.3%減)	32,253	3,306 減 (9.3%減)	2,449	528 増 (27.5%増)
解約失効高 (解約失効率)	39,207	1,252 減 (3.1%減)	12,554 (5.97%)	192 増 (1.6%増) (0.14ポイント低下)	24,906 (6.89%)	2,224 減 (8.2%減) (0.61ポイント低下)	1,746 (8.56%)	779 増 (80.7%増) (3.70ポイント上昇)
新契約年換算保険料	1,279	363 減 (22.1%減)	415	362 減 (46.6%減)	664	51 減 (7.2%減)	199	51 増 (34.4%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	165	8 増 (5.7%増)	67	6 増 (10.7%増)	98	2 増 (2.5%増)	0	0 増 (250.5%増)

(注) 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約高	595,068	2,856 増 (0.5%増)	215,956	5,724 増 (2.7%増)	360,626	953 減 (0.3%減)	18,485	1,915 減 (9.4%減)
保有契約年換算保険料	14,205	271 減 (1.9%減)	6,354	1 減 (0.0%減)	6,489	122 増 (1.9%増)	1,361	392 減 (22.4%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,634	24 増 (1.5%増)	980	23 減 (2.4%減)	619	51 増 (9.0%増)	33	3 減 (9.3%減)

■ 3社単純合算

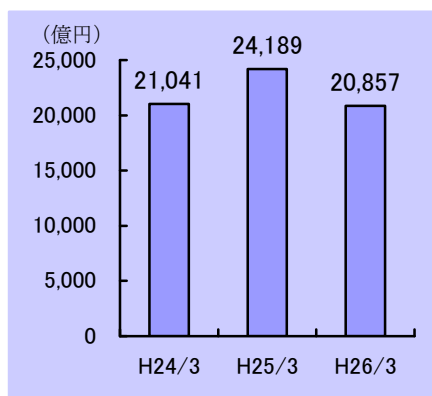
- ・新契約高は、6兆1,670億円、前年から8.3%の減少。
- ・解約失効高は、3兆9,207億円、前年から3.1%の減少。
- ・保有契約高は、59兆5,068億円、前年度末から0.5%の増加。

■ 各社の状況

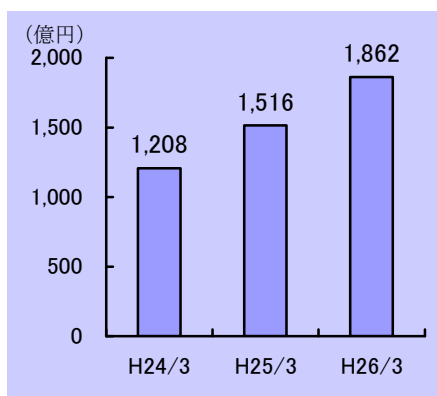
- ・太陽生命の新契約高は、2兆6,966億円、前年から9.3%の減少。これは主に、一時払個人年金保険の販売減少による。なお、主力の個人保険の新契約高は前年から3.5%の増加となっている。また、保有契約高は、2兆1兆5,956億円、前年度末から2.7%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、3兆2,253億円、前年から9.3%の減少。これは主に、個人定期保険および一時払終身保険の販売減少による。なお、主力商品の一つである「Jタイプ[※]」は4,728億円となり、前年から8.3%の増加。これを加算した金額でみた場合、新契約高は3兆6,981億円、前年から7.4%の減少。また、同じ基準でみた保有契約高は、3兆7兆2,556億円となり、前年度末から0.9%の増加。
[※]「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」は普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額は上表の新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、2,449億円、前年から27.5%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。解約失効高は、1,746億円、前年から80.7%の増加。これは主に、株式相場の上昇等に伴う変額個人年金保険の解約増加による。

[損益関係]

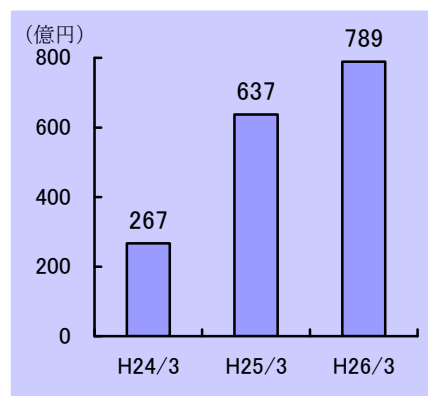
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○当期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	20,857	3,332 減 (13.8%減)	8,572	3,723 減 (30.3%減)	8,933	93 増 (1.1%増)	4,686	1,800 増 (62.4%増)
うち保険料等収入	16,097	3,311 減 (17.1%減)	6,552	3,631 減 (35.7%減)	7,128	116 減 (1.6%減)	2,397	430 増 (21.9%増)
うち資産運用収益	3,978	51 減 (1.3%減)	1,757	118 減 (6.3%減)	1,604	178 増 (12.6%増)	649	140 減 (17.8%減)
うち 利息及び配当金等収入	2,874	217 増 (8.2%増)	1,539	82 増 (5.7%増)	1,278	118 増 (10.2%増)	70	15 増 (27.1%増)
うちその他経常収益	781	31 増 (4.1%増)	262	26 増 (11.3%増)	199	30 増 (18.1%増)	1,639	1,510 増 (1,168.1%増)
経常費用	18,995	3,677 減 (16.2%減)	7,850	3,757 減 (32.4%減)	8,020	143 減 (1.8%減)	4,477	1,728 増 (62.9%増)
うち保険金等支払金	15,209	1,774 増 (13.2%増)	5,854	694 減 (10.6%減)	5,224	468 減 (8.2%減)	4,122	2,934 増 (246.9%増)
うち責任準備金等繰入額	225	4,943 減 (95.6%減)	524	2,673 減 (83.6%減)	1,197	436 増 (57.3%増)	76	1,131 減 (93.6%減)
うち資産運用費用	866	317 減 (26.8%減)	293	186 減 (38.9%減)	463	84 減 (15.4%減)	131	73 減 (36.0%減)
経常利益	1,862	345 増 (22.8%増)	722	34 増 (5.0%増)	913	236 増 (35.0%増)	209	71 増 (51.7%増)
特別利益	4	1 増 (53.8%増)	0	1 減 (97.5%減)	2	1 増 (432.4%増)	—	— (—)
特別損失	311	33 増 (12.2%増)	129	20 減 (13.6%減)	176	64 増 (57.3%増)	3	10 減 (72.3%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	316	4 増 (1.4%増)	176	6 増 (4.1%増)	139	2 減 (1.8%減)	△0	0 減 (1,255.9%増)
税引前当期純利益	1,238	308 増 (33.2%増)	416	46 増 (12.5%増)	599	176 増 (41.9%増)	205	81 増 (66.2%増)
法人税等合計	447	156 増 (53.7%増)	152	38 増 (33.9%増)	239	106 増 (79.4%増)	46	11 増 (32.0%増)
当期純利益	789	152 増 (23.9%増)	263	7 増 (2.9%増)	359	70 増 (24.5%増)	159	70 増 (79.7%増)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	2,516	350 増 (16.2%増)	1,464	67 増 (4.9%増)	1,116	261 増 (30.6%増)	△51	20 増 (28.7%減)
--------------------	-------	-------------------	-------	-----------------	-------	-------------------	-----	------------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆6,078億円(前年比17.1%減)です。
 3. 特別損失(311億円)のうち、241億円は価格変動準備金への繰入です。(太陽生命：101億円、大同生命：138億円、TDF生命：0億円)
 4. 資産運用関係収支(一般勘定)は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、2兆857億円、前年から13.8%の減少。
これは主に、太陽生命の一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **経常利益**は、1,862億円、前年から22.8%の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で利息及び配当金等収入が増加したこと、並びにT&Dフィナンシャル生命で株式相場の上昇等に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、789億円、前年から23.9%の増加。なお、当期純利益については前年の過去最高益を更新した。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、8,572億円、前年から30.3%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、6,552億円、前年から35.7%の減少。
- ・ **経常利益**は、722億円、前年から5.0%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、263億円、前年から2.9%の増加。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、8,933億円、前年から1.1%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、7,128億円、前年から1.6%の減少。
- ・ **経常利益**は、913億円、前年から35.0%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入を中心に資産運用関係収支（一般勘定）が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、359億円、前年から24.5%の増加。

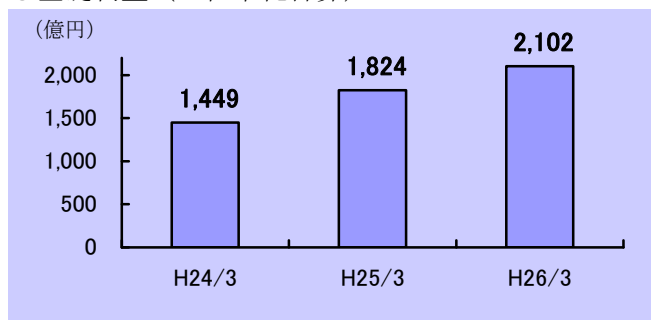
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,686億円、前年から62.4%の増加。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴う責任準備金戻入額が増加したこと、および保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、2,397億円、前年から21.9%の増加。
- ・ **経常利益**は、209億円、前年から51.7%の増加。
これは主に、株式相場の上昇等に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が増加したことによる。
- ・ **当期純利益**は、159億円、前年から79.7%の増加。

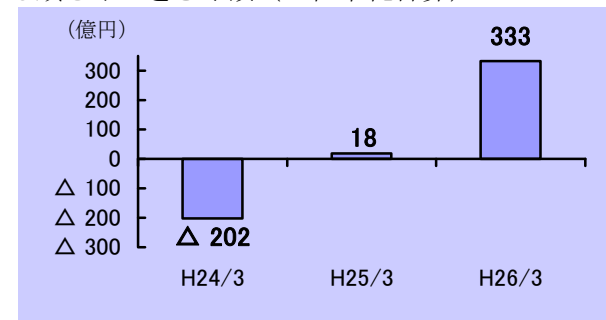
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	2,102	277 増 (15.2%増)	726	53 増 (8.0%増)	1,106	260 増 (30.8%増)	269	36 減 (12.0%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	333	314 増	117	97 増	243	219 増	Δ28	2 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、2,102億円、前年から277億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、726億円、前年から53億円の増加。
順ざや額は、117億円、前年から97億円の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、1,106億円、前年から260億円の増加。
順ざや額は、243億円、前年から219億円の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入を中心に基礎利益中の資産運用収支が増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、269億円、前年から36億円の減少。
逆ざや額は、28億円、前年並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	—	—	981.3%	157.9pt 上昇	1,156.4%	113.2pt 上昇	1,051.2%	402.8pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,115.0%	171.2pt 上昇	989.0%	159.3pt 上昇	1,163.9%	113.5pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,115.0%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、981.3%、前年度末から157.9ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げ、および劣後ローン・劣後社債による調達に伴うソルベンシー・マージン総額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,156.4%、前年度末から113.2ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げ、および有価証券差損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,051.2%、前年度末から402.8ポイント上昇。
これは主に、当期純利益の計上、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	20,101	872増	8,562	200減	9,925	1,072増	1,249	10減

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は2兆101億円、前年度末から872億円の増加。
これは主に、大同生命の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、8,562億円、前年度末から200億円の減少。
これは主に、当期純利益の計上の一方、公社債等の有価証券差損益の減少による。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、9,925億円、前年度末から1,072億円の増加。
これは、当期純利益の計上、負債内部留保の積み上げ、および有価証券差損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,249億円、前年度末から10億円の減少。
これは主に、当期純利益の計上の一方、公社債の有価証券差損益の減少による。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益	8,058	290減	4,770	496減	3,032	259増	256	53減
公社債	3,898	694減	2,081	449減	1,570	182減	245	62減
株式	2,531	534増	1,556	218増	975	315増	—	—
外国証券	1,318	164減	1,011	249減	307	85増	—	—
その他の証券	143	43増	54	2減	88	46増	—	—
金銭の信託	10	3増	—	—	0	5減	10	9増
買入金銭債権	156	13減	66	13減	89	0減	—	—
土地等の差損益	226	59増	13	12増	212	46増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > (速報)

※MCEVについては速報版のニュースリリース、および5月20日(火)開示予定のニュースリリース(確定版)をご参照ください。

(単位:億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
MCEV	19,701	3,057 増	7,051	681 増	11,459	2,224 増	923	148 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	891	275 増	253	120 増	607	152 増	30	1 増

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、1兆9,701億円と、前年度末から3,057億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(1兆9,434億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(267億円)」の合計額です。
新契約価値は、891億円、前年から275億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、7,051億円、前年度末から681億円の増加。
新契約価値は、253億円、前年から120億円の増加。
- ・ **大同生命のMCEV**は、1兆1,459億円、前年度末から2,224億円の増加。
新契約価値は、607億円、前年から152億円の増加。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、923億円、前年度末から148億円の増加。
新契約価値は、30億円、前年から1億円の増加。

[平成27年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	平成26年3月期実績	平成27年3月期予想
経常収益	20,857	21,700 程度
経常利益	1,862	1,490 程度
当期純利益	789	770 程度

1株当たり年間配当金予想は25円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成27年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,000 程度	8,800 程度	3,700 程度
経常利益	600 程度	710 程度	170 程度
当期純利益	270 程度	390 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成27年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,590 程度	660 程度	890 程度	40 程度
保険料等収入	18,200 程度	7,300 程度	7,400 程度	3,500 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	140 程度	80 程度	90 程度	△30 程度
新契約高	65,200 程度	28,100 程度	33,300 程度	3,800 程度
保有契約高	601,100 程度	222,500 程度	360,100 程度	18,500 程度
解約失効率 (%)		5.8%程度	7.0%程度	4.6%程度

- (注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。
2. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。
- 新契約高 : 3兆9,100億円程度
保有契約高 : 37兆6,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

(参考) 契約者配当

○太陽生命

- ①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。
- ②団体保険 前年度配当率を据え置きます。
- ③団体年金保険 前年どおり、0.25% (一部商品については0.50%) の利差配当を実施します。

○大同生命

- ①個人保険・個人年金保険 前年度配当率を据え置きます。
- ②団体保険 前年度配当率を据え置きます。
- ③団体年金保険 前年どおり、責任準備金に対して0.05%の利差配当を実施します。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・前年度に引き続き割り当てはありません。

以 上